

## 牧野植物園新研究棟建築基本設計委託業務にかかるプロポーザル審査結果について

参加申込書の提出があった5者すべてが資格要件を満たしており、全者に企画提案書の提出を求め、審査委員会によるヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）審査を実施した。

日時：令和元年9月20日（金） 11時30分～17時25分

場所：高知県立牧野植物園 映像ホール（高知市五台山4200-6）

### 1 審査結果

	参加者名	総合点数（1, 100点満点）
候補者	株式会社細木建築研究所	753点
次点者	A社	675点
3位	B社	728点
4位	C社	644点
5位	D社	631点

※次点者の決定については、総合点数ではB社がA社を上回っているが、牧野植物園新研究棟建築基本設計委託業務公募型プロポーザル審査要領の「4審査の方法(6)(イ)」に基づき、各審査委員が最高得点を付けた者を対象として、審査委員ごとに1位(5点)～5位(1点)の順位により点数を付けた結果、合計点が候補者を除き最高点だったA社を次点者とした。

### 2 審査項目

総合点数は、1, 100点（審査委員一人当たり220点）とし、審査項目ごとの審査委員一人当たりの配点は次のとおり。

- (1) <業務実績> 20点
- (2) <技術力> 20点
- (3) <業務遂行能力> 20点
- (4) <提案内容> 160点

### 3 提案に対する意見等

候補者（株式会社細木建築研究所）

- ・植物園の各施設、竹林寺、五台山等、周辺環境と一体感を感じる意匠の提案となっている。
- ・建築及び取壊しについて来園者及び職員への影響を少なくする工程がしっかり検討されている。
- ・無理のない構造計画が提案され、準耐火建築物とすることで、可能な限り木質化する工夫がされている。
- ・実験室の機能やキッズラボの動線についてはやや理解が不十分なところや工夫の余地があるので、業務実施にあたっては牧野植物園職員とも十分に意思疎通を図り、設計に生かすこと。

次点者（A社）

- ・研究者の防音への配慮や研究者同士の連携が取りやすい配置など新研究棟に求められる機能についてよく理解できている。
- ・職員と来園者の動線が分離されており優れた計画となっている。
- ・植物園内や周辺環境との調和について検討が不十分であった。
- ・面積要件を超過した提案であった。

第3位（B社）

- ・牧野植物園内や五台山の自然条件などをよく把握できており、安全対策等も現実的であった。
- ・園全体のバリアフリーについても提案がされており、周辺環境と一体感を感じる提案となっている。
- ・CLTの新たな活用についての提案は期待できる。
- ・研究機能についての理解、実験室内に対する配慮が不十分であった。
- ・職員と来園者の動線の分離についての検討が不足していた。

第4位（C社）

- ・ライフサイクルコストの縮減について、設計の提案内容に基づき、考え方が具体的に示されていた。
- ・新研究棟の機能について理解し、一定の対策が示されている。
- ・新研究棟内の職員の動線と来園者の動線の分離について提案が不十分である。
- ・工事用車両と来園者の分離について具体的な提案がなかった。

第5位（D社）

- ・新研究棟の各階に設置する広場を介した連携は工夫されている。
- ・牧野植物園ならではの提案や、実験研究機能に対する検討が不足している。
- ・CLTの活用が屋根のみとなっており、可能な限り木材を利用するたの検討が不十分である。